

綴る

誰かが書いた文字を見るのが好きだ

角ばった 濃い文字を書く人だ

四角四面で 力強い人だ

どうかあなたの芯が折れぬように

頼りないHBの黒鉛を 一手ごと研ぎ澄ましていく

誰かが書いた文字を見るのが好きだ

流れるように 大きな文字を書く人だ

しなやかで 自然体な人だ

どうかあなたの軌跡が途切れぬように

インクを纏った小さなボールを 一息に転がしていく

誰かが書いた文字を見るのが好きだ

右上がりの 丸い文字を書く人だ

元気の良い 朗らかな人だ

どうかあなたの色が濁らぬように

澄み切った黒を鋒鉞で 一心に磨いていく

自分が書いた文字を見るのが嫌いだった

弱弱しくて 落ち着きのない文字を書く奴だと思っていたけれど

文鳥

紙に連ねた黒鉛が あなたにとってのダイヤモンドであると

インクが走った長さが あなたを思う時間の長さであると

描いた黒の濃淡が あなたにとっての万彩であると

綴る言葉こそが 自分の歩みであると

気がついてしまったから 今日